

3 出土遺物

本丸御殿跡の発掘調査では、陶磁器・青磁・白磁・瓦質土器・土師質土器などの「器もの」を主とした遺物群が出土しています。また、瓦類が殆ど出土していないことも特徴的で、瓦葺き建物が近隣になかったか、土坑への廃棄などが行われなかったことを示します。カクランが深く及んでいたにも関わらず、少なからず中世後半（15～16c）の青磁・白磁が出土することから、御殿跡地には室町～戦国時代にかけての居館があった可能性を示すものと考えています。



SK12355 (BK-36) ・ フク土出土遺物群

BK-36グリッドは土師質土器の出土が顕著。SK12355の南北隣も別個の遺構が確認されました。SK12355は玉石の廃棄土坑と考えていますが、これらの遺物と共に埋め立てられていた遺構なので、江戸初期の廃棄土坑と考えています。



BK-35 ・ II層出土遺物群

BK-35グリッドは地境を示す石列(SR13075)を検出しましたが、同じ層位では顕著な遺構は発見されませんでした。しかし、その下位の層からは戦国時代を中心とした遺物群の一部が出土しました。



BK-37 ・ II層出土遺物群(遺構フク土か?)

BK-37グリッドは地山III層(黄色砂)が比較的高い位置で検出された地点です。多数の遺構が重複していました。ファイゴの羽口は「鍛冶」関連遺物として、お城での武具鍛冶などが想定されます。



SK08314 (BK-38) ・ フク土出土遺物群

BK-38グリッドは径3mを越す土坑(SK08314)が検出されました。現時点で掘り込み面はI層直下でしたが、遺物も伊万里・越前甕と近世期を示すため、近世最上期の遺構かもしれません。

編集後記

現地説明会開催に当たり関係各位に多大なご理解・ご協力を賜りましたこと誠に感謝申し上げます。尚、山形城跡の復原事業にかかわり山形市では関連する資料を探しています。お心当たりの方は下記までご連絡下さいませようお願いします。
【お問い合わせ先】 〒990-8540 山形県山形市旅籠町二丁目3番25号 山形市まちづくり推進部公園緑地課 TEL023(641)1212代
【編集・発行】 山形市教育委員会社会教育青少年課文化財保護係 平成25年10月13日(日曜日)

史跡山形城跡(2012～2013) 本丸御殿跡発掘調査現地説明会資料

平成25年10月13日(日) 山形市教育委員会社会教育青少年課

調査要項

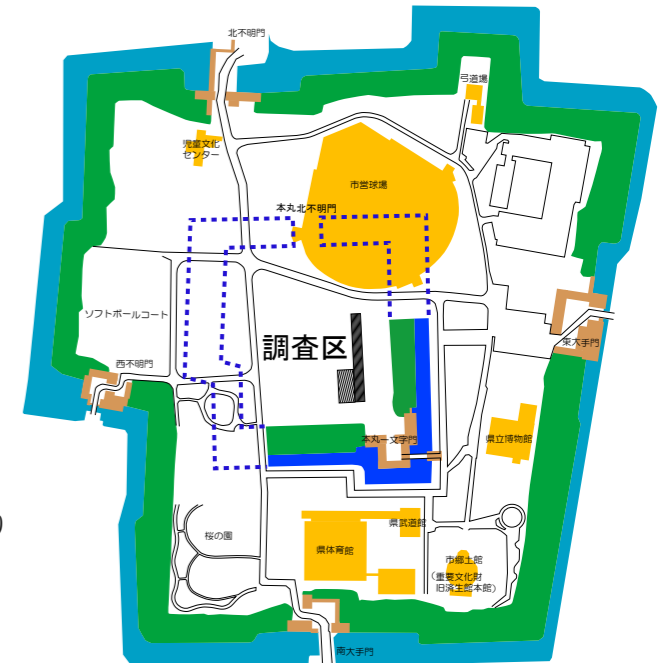
遺跡名	国指定史跡 山形城跡
所在地	山形市霞城町(霞城公園)
遺跡番号	1番(山形県遺跡地図)
調査期間	平成24年4月16日～9月28日, 平成25年5月28日～12月25日(予定)
調査面積	約700㎡(説明会開催対象)+1,000㎡(平成25年度実施範囲)
調査原因	史跡山形城跡(霞城公園)本丸西堀整備事業(文化庁補助事業)
遺跡種別	城郭(近世城郭)
時代	近世・近現代
遺構	溝跡・土坑・ピット・石列遺構 など
遺物	陶磁器碗皿類・青磁碗皿類・白磁皿・土師質土器・瓦質土器・古銭・石製品 など
調査事業の主体	山形市公園緑地課
調査実施の機関	山形市教育委員会
調査担当	山形市教育委員会社会教育青少年課

1 概要(史跡の立地及び周辺の環境)

山形城跡は、最上義光が整備したといわれる本丸・二ノ丸・三ノ丸からなる平城です。現在、二ノ丸から内側は霞城公園として憩いの場となっていますが、昭和61年国史跡指定を受けて以来整備が進められ、二ノ丸東大手門や本丸一文字門石垣などが復原され新たなシンボルとなっています。整備は引き続き行われ、平成23年度より「本丸西堀・西土塁跡」の調査を文化庁の補助をうけて行っています。また、平成24年度より「本丸御殿跡」の整備を目的とした発掘調査を同補助により実施しており、西堀。西土塁跡と並行して調査を行っております。

城跡の周囲は市街地となっており、ほぼその中心に位置します。市街北部を流れる馬見ヶ崎川による扇状地上に立地し、本丸一文字門付近で海拔約130mを測り湧水地帯に築かれた平城であったと考えられます。

本丸御殿跡周辺は明治時代の改変により御殿に伴う遺構は消滅しており、地下遺構の調査が重要と考えております。



歴代藩主年表

和暦	西暦	藩主	石高
延文元年	一三五六	斯波兼頼	
慶長五年	一六〇〇	最上義光	
		最上家親	五十七万石
元和八年	一六三二	最上家信(義俊)	
寛永十三年	一六三六	鳥居忠政	二十万石
寛永二十年	一六四三	鳥居忠恒	二十万石
正保元年	一六四四	保科正之	二十万石
慶安元年	一六四八	幕府領	
寛文八年	一六六八	(結城)松平直基	十五万石
		(奥平)松平忠弘	十五万石
貞享二年	一六八五	奥平昌能	九万石
貞享三年	一六八六	奥平昌章	九万石
元禄五年	一六九二	堀田正仲	一〇万石
		堀田正亮	一〇万石
		堀田正春	一〇万石
		堀田正虎	一〇万石
		(奥平)松平忠雅	一〇万石
		(奥平)松平直矩	一〇万石
		(結城)松平直矩	一〇万石
		(大給)松平乗佑	六万石
		幕府領	
		秋元涼朝	六万石
		秋元永朝	六万石
		秋元久朝	六万石
		秋元志朝	六万石
		水野忠精	五万石
		水野忠弘	五万石

